

佐賀大学医学部附属  
看護学教育研究支援センター

—地域の看護職の質向上をめざして—

令和 5 年度年報

# Contents

## 令和5年度看護学教育研究支援センター事業報告

教育研究実践支援部門	・・・・・・・・・・	1
人事交流支援部門	・・・・・・・・・・	5
国際交流支援部門	・・・・・・・・・・	5

教育研究実践支援部門は、部門責任者を含め、医学部看護学科教員 10 名と佐賀大学医学部附属病院看護師 2 名が担当している。本部門では、佐賀県内で教育・指導、研究、実践に携わっている看護職を対象に、研究支援と継続教育を行った。また、研修会等の講師として、地域の看護職のレベルアップに貢献した。

(1) 継続教育としての実践レベルアップ研修

継続教育では、医療的ケア児関連の研修<sup>1)</sup> を 4 回開催し、30 名の受講があった。

さらに現場の求めに応じて、訪問看護サポートセンター（鈴木 1 件）、佐賀県（鈴木 7 件、山田小 2 件）、看護協会（田渕 1 件、鈴木 2 件、室屋 1 件）などへ出向き、研修や講演などの講師を務めた。

また、佐賀県糖尿病コーディネート看護師の育成研修<sup>2)</sup> では、5 名の糖尿病コーディネート看護師を育成した。

※ 下線部は佐賀県からの委託事業として実施した。

- 1) 佐賀県小児在宅医療従事者等実技研修
- 2) 佐賀県糖尿病コーディネート看護師育成・活動支援事業

(2) 研究支援

研究支援では、研究指導、助言を希望する対象者へ看護学科教員によるマンツーマンの指導を行っている。また、申請者が研究に必要な文献を活用できるよう、佐賀大学附属図書館の協力を得て研究環境を整えている。

令和 5 年度の研究支援の新規申請はなかった。

(3) 講演会の開催

11 月 15 日～12 月 15 日の期間中に、オンデマンド配信による講演会を開催した。講演のテーマは「人材育成」とし、5 演題の実践報告が行われた。

- ・「看護管理者の立場から」

佐賀大学医学部附属病院 看護部長 宮之下さとみ 氏

- ・「教育担当看護師長の立場から」

医療社団法人如水会 今村病院 教育担当看護師長 今田幸子 氏

- ・「訪問看護師の立場から」

医療法人ひらまつ病院訪問看護ステーション 管理者 堀口奈緒子 氏

- ・「保健師の立場から」

佐賀中部保健福祉事務所 企画経営課企画担当係長 西恵子 氏

- ・「教員の立場から」

佐賀大学医学部看護学科 老年看護学 教授 田渕 康子 氏

動画再生回数

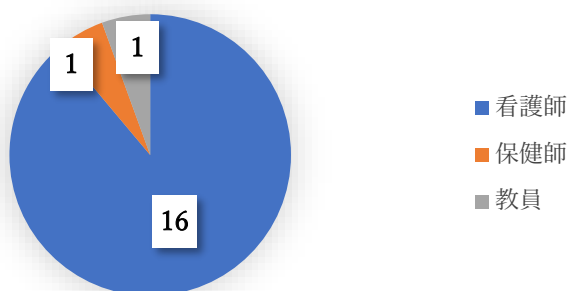
演 題	総閲覧数
看護管理者の立場から	136
教育担当看護師長の立場から	106
訪問看護師の立場から	74
保健師の立場から	47
教員の立場から	66

案内文書送付件数

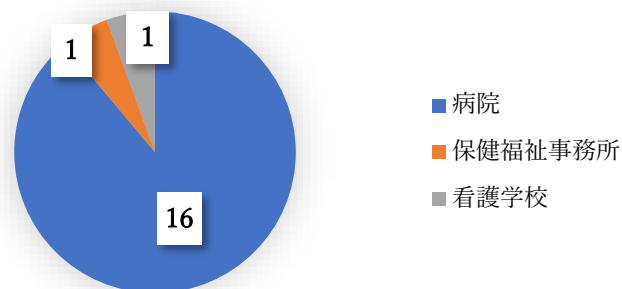
送 付 先	件数
病院	112
訪問看護ステーション (佐賀県看護協会訪問看護ステーションより FAX にて送付)	76
保健福祉事務所	5
看護師教育機関	12

【集計結果 回答者数：18名】

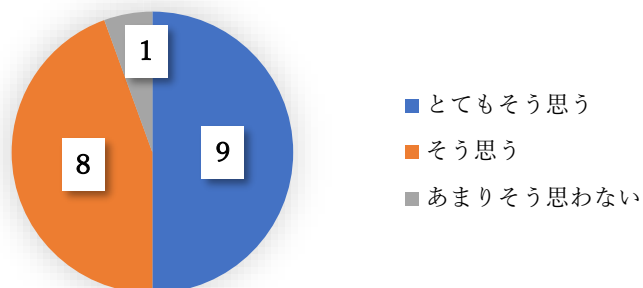
1. 職業



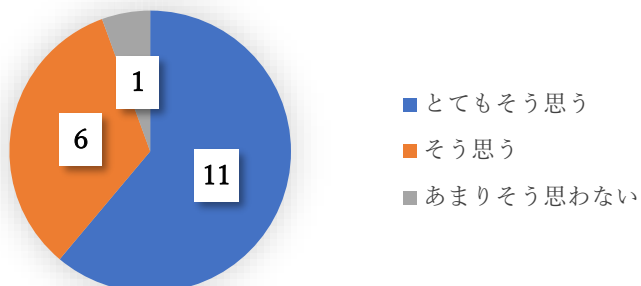
2. 勤務施設



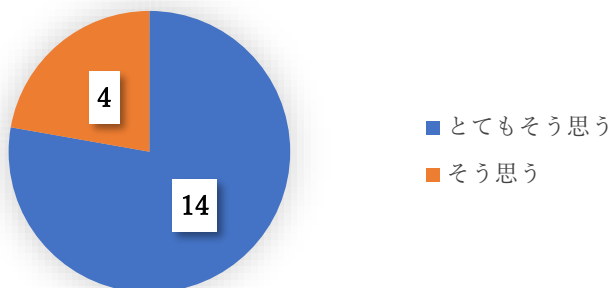
3. 講演「看護管理者の立場から」は、これからの人材育成において参考になった。



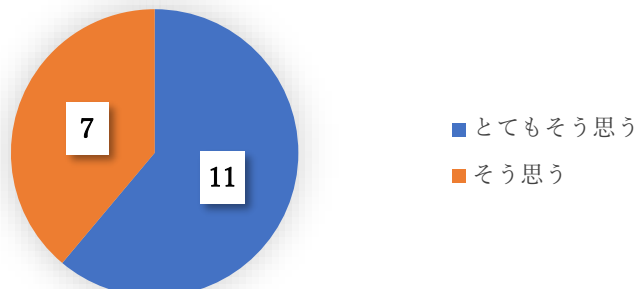
4. 講演「教育担当看護師長の立場から」は、これからの人材育成において参考になった。



5. 講演「訪問看護師の立場から」は、これからの人材育成において参考になった。



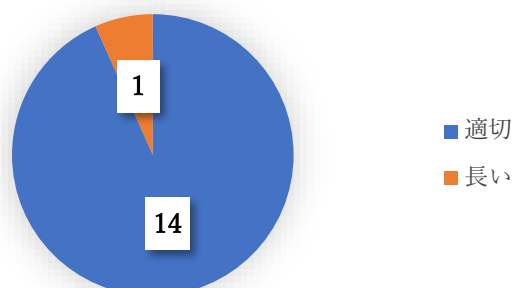
6. 講演「保健師の立場から」は、これからの人材育成において参考になった。



7. 講演「教員の立場から」は、これからの人材育成において参考に参考になった。



8. 講演会の時間



9. 今後、講演会で企画してほしい内容や要望（自由記述）

- ・ とても良い内容だった。
- ・ 講演の中に、看護協会作成のガイドランや研修を取り入れて人材育成をしているなどの実践を聞くことができはげみになった。
- ・ 子育て世代の継続雇用と問題点について知りたい。
- ・ 子育てをしている職員を快く迎えているか？など問題点があれば教えて欲しい。
- ・ 支援を受けた側の意見があると支援内容に対する反応がわかり興味深かった。
- ・ 管理者の取組みも勿論であるが、対象者のニーズや反応が見えるとさらに興味深い講演になると思う。

## 人事交流支援部門

部門責任者 田淵康子

人事交流支援部門は、部門責任者を含めて医学部看護学科教員 7 名と佐賀大学医学部附属病院看護部看護師 1 名の合計 8 名が担当している。本部門では、看護職者相互のキャリア向上を目指して、看護学科・地域の病院・行政機関の間での人事交流を支援している。令和 5 年度は、COVID-19 の感染等の影響により、人事交流を行うことができなかった。

## 国際交流支援部門

部門責任者 田中奈美

国際交流支援部門は、部門責任者を含めて、医学部看護学科教員 4 名と佐賀大学医学部附属病院看護部看護師 1 名の合計 5 名が担当している。

本部門では、看護職や看護学生の国際交流の支援、国際医療協力活動への看護職の派遣などを実施している。以下に、令和 5 年度の主な活動を報告する。令和 5 年度も、COVID-19 の感染の影響を考慮し、交換留学支援は中止となった。

### (1) 交換留学支援

台湾の輔仁カトリック大学看護学部看護学科との交換留学は、感染拡大防止のため中止とした。

### (2) 国際看護・災害看護の特別講義の実施

看護学科 4 年生に対し、「国際保健看護論」の教育を兼ねて、厚生労働省勤務の野中良恵看護師を招聘して、特別講義「トルコ地震における国際緊急援助活動」（令和 5 年 11 月 13 日）を実施した。

### (3) 看護学生へ国際看護に関するキャリア教育

看護学科では、3 年前期開講科目「キャリア・デザイン」において、学生が興味を持つ分野で活躍する現役の看護職者へのインタビューを取り入れている。インタビュー対象者の中には、国際協力機構（JICA）職員として発展途上国での勤務経験を経て外務省に勤務する先輩看護師（田中沙恵氏）が含まれ、国際看護に興味を持つ学生 4 名がインタビューを行った。また、同看護師に、看護学科 3 年生 1 名に対する個別キャリアガイダンスを依頼した。

令和 5 年度年報

佐賀大学医学部附属看護学教育研究支援センター

—地域の看護職の質向上をめざして—

---

令和 6 年 3 月 31 日発行

発行者：佐賀大学医学部附属看護学教育研究支援センター

〒 849-8501 佐賀市鍋島 5-1-1

発行責任者：センター長 古賀明美

制作：佐賀大学医学部附属 看護学教育研究支援センター